

9. 材料及び作業計画

(1) 種類(径別・材質・銘柄)・数量

① 保 管 場 所

株式会社 スチール・ワン 折本工場

使用材料（当社積算による）

② 材料検収

- ・メーカー発行の納品書と表示プレート（鋼板）を確認し、現場名・メーカー・強度径・長さ・本数を確認する。ロット番号鋼板は回収する。
 - ・不良品、品質チェックの終了していない材料は加工しない。
 - イ) ひび割れ・ささくれ・変形し曲げっている物、メーカーの表示マークの無い物は使用しない。
 - ロ) コンクリート・ペンキ等が付着した材料、錆のひどい物は使用しない。

③ 保 管

- ・規格・径・長さ別に分類し、原則として屋外に置くが、シート等で覆い養生する。
 - ・保管場所は、資材ラック箇所にH鋼を置いて直接地面と接すること無いようにする。
 - ・鉄筋置き場は、水はけの良い場所に設置する。
 - ・工場納入納品書（受領印・捺印済み）とロット番号鋼板は、毎月末締め、翌月7日までに現場へ提出する。

10. 鉄筋組立要領

(1) 基本施工フロー

(工場加工)

加工品材料搬入

搬入材料チェック

材料荷下ろし及び荷揚げ

材料仕分け

材料配置

材料配筋・結束

自主検査・是正措置

- ・自主検査表チェックシート提出
- ・指摘のあった時は速やかに対応

立会検査の実施

コンクリート打設

(現場加工)

直送材料搬入(径・長さ)検収

材料加工・チェック

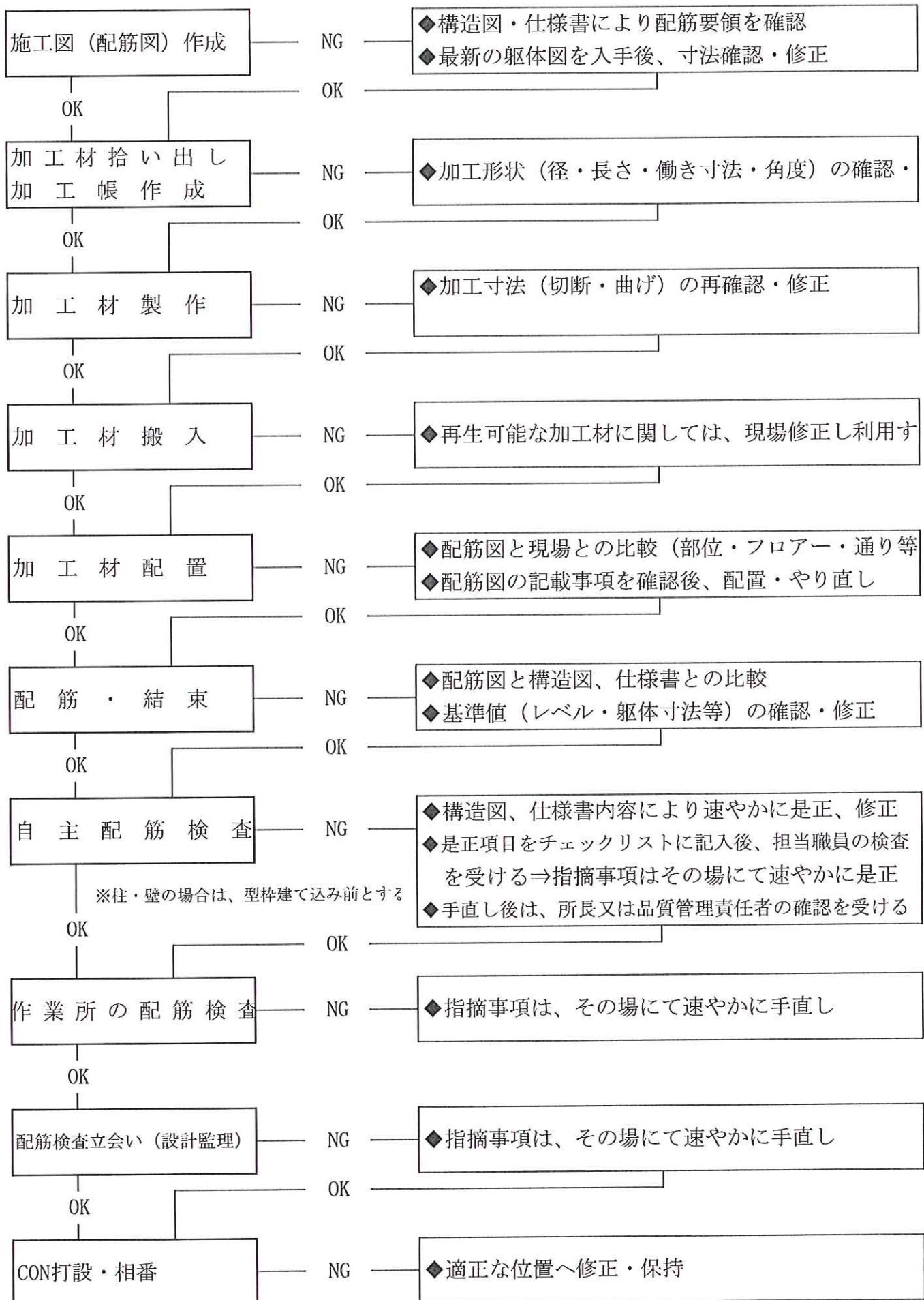
※1

※2

※1 基本的には、揚重機作業となる。

※2 構造・規模・工法等により異なる。

11. 鉄筋工事標準フロー



12. 安全施工ポイント

工事名	新築工事	
施工会社	株式会社スチール・ワン	
使用機械	電動カッター、自動結束機	
器具・工具	手動鉄筋カッター・ハッカー	
使用材料	異径鉄筋棒鋼 (D ~ D) スペーサー・番線・結束線・バタ角・桟木	
保護具	ヘルメット・安全帯・安全靴・革手袋・ゴム手袋・安全長靴	
必要資格	鉄筋技能士・玉掛け・ガス溶接・職長安全衛生責任者・登録基幹技能士	
作業内容・ポイント	安全・注意・確認事項	
1 作業前準備	<p>(1) 作業指揮者（職長）の任命</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安全・衛生・施工管理を率先して行い、全作業員に対し主旨を説明し周知徹底させる。 ②各作業員の服装・健康状態を常に確認し、適切な指示を行う。 ③器具・工具・設備の点検を常に行い、事故を未然に防ぐ。 ④日々の作業における変更・確認・調整の打合せ窓口となり、その都度作業員に対して指示伝達を行う。 <p>(2) 所在地・経路</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車両運転責任者の専任 ②車両規制・駐車場・待機場の確認 ③通勤ルート・周知施設の確認 <p>(3) 安全帯・服装の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安全帯・ヘルメットに破損箇所がないかを確認し、不良品は交換する。 ②服装が作業を行う上で、適しているか確認し且つ指導する。 ③安全靴は、底減り・破れがないか確認し、不良品は交換させる。 <p>(4) 現場環境の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ①現場の立地状況・周辺地区との条件等を事前に確認する。 ②安全通路・昇降設備の確認を事前に行い、作業員に報告し使用の徹底に努める。 ③揚重機の配置・能力の確認 ④搬入材料のストックヤードの確認 ⑤現場施工上で工区割りのある時は、事前に確認し搬入・施工計画に反映させる。 	

作業内容・ポイント		安全・注意・確認事項
2	作業開始前	
	(1) 朝礼・昼礼への参加	<p>①開始10分前には、会場に集合し準備する。</p> <p>②ラジオ体操にて十分体をほぐす。</p> <p>③各作業内容や危険注意事項は、職長だけでなく全作業員で聞く。</p>
	(2) 新規入場者教育の実施	<p>①記入漏れの無い様、事前に教育を行う。 (送り出し教育は事前に実施する。)</p> <p>②健康状態は、正確に報告する。</p> <p>③現場概要説明は真剣に聞き、不明な点は担当職員に必ず確認する。</p>
	(3) KYK・TBMの実施	<p>①当日の作業内容や手順を、全作業員にボード・図面を使用し伝達する。その際、職長は作業員の理解度を必ず確認する。</p> <p>②危険予知活動は、全作業員からの潜む危険を発表させ、全員で対策を考える。併せて当日の危険箇所、立入禁止場所等も全員で確認する。</p> <p>③職長は、作業員の服装・健康状態を再度確認する。</p>
	(4) 使用工具・器具の作業前点検	<p>①正しい手順で組立を行い、取付・締付け・不備がないかチェックし安全設備が正しく作動するか必ず確認する。 また、日々の試運転は必ず実施する。</p> <p>②不良品が発見された場合は、直ちに取替え絶対に使用しない。</p>
	(5) 安全設備・立入禁止の確認	<p>①水平・垂直ネット及び親綱の張り状態を確認し、不足があれば、職員と打合せし対処を要請する。</p> <p>②立入禁止区域の確認を日々実施する。 また、危険な場所が確認された場合は、速やかに対処を要請する。</p> <p>③昇降設備の場所を確認し、全作業員に使用の徹底を指示する。</p>

作業内容・ポイント		安全・注意・確認事項
3	施工開始	
	(1) 工場加工	<p>①加工機・切断機の始業前点検を確実に行い、取扱手順を再確認する。</p> <p>②加工帳に従い、材料を正確に仕分けて加工を行う。</p> <p>その際、機械での挟まれ・裂傷災害などの無い様に、手元に注意する。</p> <p>③加工後製品は、場内揚重機を使用して、ストックヤードへ移動・積込みする。その際、有資格者で作業を行い必ず事前に玉掛けワイヤーの点検をする。</p>
	(2) 材料搬入時の確認	<p>①オーダー通りの材料が搬入されているか、搬入時に納品チェックを行う。</p> <p>②工場加工の場合は、加工絵符と施工図で十分に照合確認する。</p>
	(3) 揚重・玉掛け作業 ※オペレーターとの事前打合せを行う。	<p>①仮置きヤードを事前に打合せ確認し、車両搬入ルート・ゲートの指示を行う。</p> <p>②揚重機の能力（吊り上げ制限荷重・作業半径）を確認し能力範囲内の揚重作業を厳守し行う。</p> <p>③玉掛け合図作業は、必ず有資格者にて行い、且つ専任者を任命する。</p> <p>④玉掛け合図者は下記事項を厳守する。</p> <p>イ) 玉掛けワイヤー・シャックルは、用途に合った部材を使用する。※点検色テープを貼る</p> <p>ロ) ゼネコンから許可を得ていない治具の使用及び吊り上げ方法は行わない。</p> <p>ハ) 合図は、オペレーターが分かるよう、大きな合図ではつきりと行う。</p> <p>二) 死角は絶対に作らない。発生する場合は、無線を各自携帯するか監視人を配置する。</p> <p>⑤荷取り合図者は下記の事項を厳守する。</p> <p>イ) 合図は、オペレーターに分かるよう、大きな合図ではつきりと行う。</p> <p>ロ) オペレーターから確認できない場所へ荷を降ろす場合は無線を使い、且つ細かい指示を与える。</p> <p>ハ) 荷下ろし後、巻き上げをする時はオペレーターが玉掛けワイヤーを確認できる位置まで指示を与える。</p>
	(4) 玉掛け作業終了	<p>①オペレーターに対し、作業が終了したことを必ず報告する。</p> <p>②玉掛けワイヤー・シャックルは、所定の場所へ返却する。</p> <p>その際は、痛みが確認された場合はゼネコン職員に必ず報告認する。交換を要請する。</p>

作業内容・ポイント		安全・注意・確認事項
3 施工開始		
(5) 作業開始		<p>①施工図に従い、所定の位置に材料を配置する。 長尺物運搬時には、必ず二人1組にて行う。</p> <p>②構造・部位等により材料の配置方法が、若干異なる場合は、都度作業員との確認をする。</p> <p>③揚重機による材料配置は、より早く、且つ安全に作業を進めることができる様、必ず専任有資格者にて作業を行う。</p>
(6) 配筋・組立		<p>①施工図に従い、所定の位置に材料を配置する。 長尺物運搬時には、必ず二人1組にて行う。</p> <p>②作業床のない場所での配筋は絶対に行わない。 その際は、速やかに職長及び職員に報告し、適切な対処を要請する。</p> <p>③高所作業を行う場合は、適切な仮設が設けられているか事前にチェックし、安全帶の使用を必ず義務付け、確認後作業員を配置する。</p> <p>④鉄筋工事標準仕様書の内容を作業員全員に事前に教育・指導し周知徹底させた上で作業に従事させる。</p>
(7) 特殊工法による組立		<p>①部位による特殊工法での組立てを行う場合は、事前に施工計画案を作成し、ゼネコン職員会議のもと施工計画会議を開催し、組立作業に反映させる。</p> <p>②特殊工法に伴う安全設備・置き場吊り治具・仮設等計画案をまとめる。</p> <p>③特殊工法に取り組む前に施工会議を開催し、危険注意事項・施工上の特殊及び手順を作業員全員に指示・指導し周知徹底させる。</p>
4 施工完了		
(1) 施工完了後自主検査		<p>①配筋完了後、速やかに自主チェックシートにて配筋検査を実施する。</p> <p>②特に、定着・継ぎ手長さ・かぶり厚さは重要となる為、要チェックする。</p> <p>③不適合と認められた箇所については、その内容をチェックシートに記入し速やかに訂正する。</p>
(2) 施工完了箇所の整理整頓		<p>①発生した残材は、その日の内に現場内指定場所か、スクラップ缶に集積し、工場へ返却する。</p> <p>②使用材は、まとめて集積し結束を行い散乱を防ぐ。</p>
(3) 使用工具の整理整頓		<p>①引き続き作業がある場合でも放置せず、工具は必ず片付ける。</p> <p>②作業上やむなく一時的に仮設を解体する場合は、解体前に職員に報告する。作業終了後は必ず復旧する。</p> <p>③使用した機械・工具は、作業終了後必ず電源を切る。</p>

13. 配筋検査要領

配筋完了後、下記の事項を重点ポイントとして自主検査をする。

- ① 径・本数のチェック
- ② 鉄筋ピッチ及びかぶりスペーサーの配置
- ③ 定着・継手の位置と長さ及び折り曲げフック
- ④ 補強筋・差し筋
- ⑤ 結束の状態
- ⑥ 設備配筋後の配筋の乱れ

※ 不良箇所は速やかに修正する。

※ チェック表は、別紙による。 (配筋検査シート)

※ 検査は、担当係員と当社職長にて実施することを原則とする。

14. 鉄筋工事自主検査表

配筋検査シート

(基礎用)

株式会社スチール・ワン

元請		現場名		構造	
検査部位		検査日		職長名	
検査員		材質	S D 2 9 5 A D ~ D : S D 3 4 5 D ~ D S D 3 9 0 D ~ D		
項	検査項目	判定	指摘事項	処置日	確認者
基礎盤	ベース・ハカマ筋本数、径、ピッチ・材質				
	ベース・ハカマ筋の加工形状				
	かぶり厚さ・スペーサー設置				
	その他				
耐圧板・ピット	スラブ筋の径・ピッチ・材質				
	端部定着方法、定着長さ				
	継手位置、継手長さ				
	かぶり厚さ・スペーサー設置				
	その他				
柱	主筋本数・径・材質				
	主筋間隔・並び(X・Y方向)				
	主筋の継手位置(圧接位置)				
	柱脚止まり筋の定着長さ				
	フープ、径、ピッチ・加工形状				
	かぶり厚さ・スペーサー設置				
	その他				
基礎梁	主筋本数・径・材質				
	主筋間隔(二段筋含む)				
	主筋定着(二段筋含む)				
	主筋継手位置(圧接位置)				
	梁天端レベル及び通り				
	スターラップ径・ピッチ・加工形状				
	各補強方法(フカシ含む)				
	かぶり厚さ・スペーサー設置				
	その他				
その他	差し筋の径・ピッチ、位置、定着長さ				
	終了時の清掃、片付け				
総合判定			合否		

○～構造図及び仕様書通りであり、適正と認められる。

△～軽微な改善を要する

×～不適合性あり、是正を必要とする

現場確認

配筋検査シート (一般階 / 柱・壁) 株式会社スチール・ワン

元請		現場名		構造		
検査部位		検査日		職長名		
検査員		材質	S D 2 9 5 A D ~ D · S D 3 4 5 D ~ D S D 3 9 0 D ~ D			
項目	検査項目	判定	指摘事項	処置日	確認者	
柱	主筋本数・径・材質					
	主筋間隔・並び(X・Y方向)					
	主筋の継手位置(圧接位置)					
	柱脚止まり筋の定着の長さ					
	フープ、径、ピッチ・加工形状					
	かぶり厚さ・スペーサー設置					
	その他					
壁	壁筋径・ピッチ・材質					
	定着・継手位置・長さ					
	コーナー補強、開口補強					
	壁筋の組手(内外)					
	壁筋のねじれ、倒れ					
	かぶり厚さ・スペーサー設置					
	その他					
その他	終了時の清掃、片付け					
総合判定			合	否		

○～構造図及び仕様書通りであり、適正と認められる。

△～軽微な改善を要する

×～不適合性あり、是正を必要とする

現場確認

配筋検査シート (一般階 / 柱・スラブ) 株式会社スチール・ワン

元請	現場名	構造	
検査部位	検査日	職長名	
検査員	材質	S D 2 9 5 A D ~ D · S D 3 4 5 D ~ D S D 3 9 0 D ~ D	
項	検査項目	判定	指摘事項
梁	主筋本数・径・材質		
	主筋間隔(二段筋含む)		
	主筋定着(二段筋含む)		
	主筋継手位置(圧接位置)		
	スターラップ径・ピッチ・加工形状		
	各補強方法(フカシ含む)		
	かぶり厚さ・スペーサー設置		
	その他		
スラブ・片持ちスラブ	径・ピッチ・材質		
	定着・継手位置・長さ		
	先端部の施工		
	短辺・長辺の組手		
	壁筋止まり筋の処理		
	各開口部補強		
	かぶり厚さ・スペーサー設置		
	その他		
柱	主筋本数・径・材質		
	主筋間隔。並び(X・Y方向)		
	主筋の継手位置(圧接位置)		
	柱脚止まり筋の定着長さ		
	フープ、径、ピッチ・加工形状		
	かぶり厚さ・スペーサー設置		
	その他		
	その他	差し筋の径・ピッチ、位置、定着長さ	
壁、かぶり厚さ(下がり壁)			
梁底・スラブ上の絵符、結束線肩の片付			
終了時の清掃・片付け			
総合判定		合否	

○～構造図及び仕様書通りであり、適正と認められる。

△～軽微な改善を要する

×～不適合性あり、是正を必要とする

現場確認

15. 自主パトロール点検表

(株)スチール・ワン 自主安全点検パトロール表
作業所名 :

点検日 : 年 月 日

点検者 :

項目	点 檢 事 項	良否	項目	点 檢 事 項	良否
労務安全書類・安全管理体制	作業員健康診断実施（期限切れ等）		墜落災害	危険作業箇所の安全設備と安全帯使用状況	
	施工計画書・作業手順書の提出、承認			危険が予想される場所の立入禁止措置	
	朝礼及び安全大会への全員参加			開口部の幅木・手摺・ネット・蓋等の設備	
	KYK・TBMの実施・提示・提出			危険箇所・積載荷重等の標識標示	
	定例打合せ・安全衛生協議会への出席			安全通路・昇降設備の確保がされているか	
	新規入場者教育の実施・記録の有無			落下防止の水平養生は良いか	
	提出書類の作成及び変更事項の届け出			崩壊・倒壊の防止措置は良いか	
	作業日誌・ミーティング日報の記載・提出			脚立足場の三点支持・2M未満	
	自主パトロールの実施と作業員への指導				
	くわえタバコ作業等の不安全行動				
クレーン	搬入材料の整理・整頓及び片付け状況		その他		
	休憩所管理状況（ごみ箱・消化器・清掃）			持込機械の点検・届け出はされているか	
	高齢者・女子・年少者の配置状況			第三者災害防止対策は良いか	
				無断駐車・迷惑駐車はしていないか	
				現場内資材の整理・整頓状況	
				オアシス運動は実施されているか	
ガス	有資格者による玉掛け作業（免許携帯）				
	合図・無線は統一されているか				
	玉掛けワイヤーの点検実施・使用状況				
	酸素・アセの逆火防止措置、ゲージ等				
	ポンベの保管状況・取扱責任者表示等				
	ポンベの空・充表示・消化器設備				

自社の改善・不安全状況・要望事項及びパトロール結果所見

現場キープラン

パトロール報告者

印